

Ⅳ 事業概要

4 連携事業

(1) 共催事業

① 第36回知能ロボットコンテスト・フェスティバル2024

(ア) 開催形態 主催 ロボット競技会実行委員会

共催 仙台市教育委員会、日本ロボット学会、東北学院大学産学連携推進センター

(イ) 期間 第一次予選 令和6年6月15日(土)

第二次予選・決勝 令和6年6月16日(日)

(令和4年度よりロボコンJrは実施せず)

(ウ) 会場 仙台市科学館 2階特別展示室

(エ) 内容 「知能ロボットコンテスト」は多数の国内のロボット大会の中でも長い歴史をもち、人為的操作のない完全自律制御ロボットによる高度な競技大会である。大学教員、学生、有志によるボランティアをベースにした実行委員会によって運営されている(Intelligent Robot Contest <http://www.inrof.org/irc/>)。なお、小・中学生を対象にした小型自律走行ロボット「梵天丸」をベースにした競技会「ロボコンJr」は令和4年度より実施していない。



令和6年度 第36回 知能ロボットコンテスト2024 開催ポスター

IV 事業概要

4 連携事業

(1) 共催事業

② きのこ展

(ア) 期 間 令和6年9月28日(土)～9月29日(日)

(イ) 会 場 仙台市科学館3Fエントランスホール

(ウ) 目 的

仙台近郊の野生キノコを食・毒を記して展示し、自然に親しみながら、キノコの正しい知識の普及と、毒キノコによる中毒防止に貢献することを目的とする。

(エ) 展示内容

仙台周辺の自生のキノコ類を対象として採集した自生キノコを、科や属ごとに分類、整理して展示した。展示に関しては、キノコの鮮度を保つように常に展示の入れ替えを行った。種名・属名・科名の名札を作成し、説明を行う解説員をおいた。会場の運営にあたっては、仙台キノコ同好会の会員が常駐し、展示の説明・会場整理、キノコの鑑定にあたった。市民の関心が高いキノコの放射線値について、東北大学と協力して調査している情報を開示した。東北大学木野康志氏による放射線値に関する講演会を行った。

- ・キノコ生体の展示
- ・栽培キノコの展示
- ・キノコの鑑定会
- ・冬虫夏草コーナー
- ・キノコのVTR放映
- ・キノコ写真の展示

(オ) 実 績

昨年に続き猛暑の影響により、秋キノコの発生が遅れたが、例年以上に季節幅の広い多数のキノコを展示することができた。採集キノコ287種、栽培キノコ9種、計296種、冬虫夏草(標本)を展示した。市民の鑑定、相談件数は95件と、昨年より24件多く相談が寄せられた。近年、子どもの関心も高いことから、子ども限定のキノコクイズコーナーや写真スポットとなるキノコオブジェを設置した。老若男女問わず多くの来場者でにぎわい、過去最高に近い、2,730名の方に来場いただいた。来場者の多くは仙台市民であるが、市外や県外からの来場者もあり、全国的にみても野生キノコの実物展示数においては、最大級の展示会と言える。木野教授による講演会にも、活発な質問が出され、キノコと放射能に関する情報提供が効果的に行われた。



会場の様子



キノコクイズコーナーの様子



キノコオブジェの様子



栽培キノコの展示の様子



講演会の様子

IV 事業概要

4 連携事業

(1) 共催事業

③ 第5回 仙台二宮杯 紙飛行機大会

(ア) 開催形態 主催 仙台紙飛行機を飛ばす会
共催 仙台市科学館

(イ) 開催日 令和6年11月16日(土)

(ウ) 会場 シェルコム仙台

(エ) 内容 仙台市出身で紙飛行機設計の世界的権威である二宮康明氏(工学博士)の名前を冠した屋内での紙飛行機の滞空時間を競う大会。

「おえかきプレーン」部門, 二宮氏設計のキット機部門, 自由設計機部門の競技種目で行われた。無料の紙飛行機教室も同時開催した。

(オ) 来場者数 52 人



紙飛行機教室の様子



競技の様子

Ⅳ 事業概要

4 連携事業

(2) 学会・研究会

①第 29 回科学講演会 「作って飛ばそう！ぼく・わたしのロケット」

(ア)開催形態 主催：日本航空宇宙学会 北部支部

共催：東北大学流体科学研究所 航空機計算科学センター，仙台市科学館

後援：国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

(イ)期間 令和 6 年 8 月 31 日(土) 13:30～16:00

(ウ)会場 仙台市科学館 2F 特別展示室および台原森林公園

(エ)内容 一般市民，特に小中学生を対象に実技を通じて航空宇宙に関する興味と科学技術に関する関心を高めることを目的に行う講演および科学工作教室。

a) 講演会

b) ペットボトルロケット講習・製作

c) 自作したペットボトルロケットの打ち上げ

d) 表彰式

(オ) 来場者数 82 人（参加児童 30 人、保護者等付添 52 人）



科学講演会「作って飛ばそう！ぼく・わたしのロケット」の様子

Ⅳ 事業概要

4 連携事業

(2) 学会・研究会

②低温工学・超伝導学会 市民公開講座「超伝導と極低温の世界」

(ア)開催形態 主催：公益社団法人 低温工学・超伝導学会
後援：仙台市科学館

(イ)期間 令和6年11月24日(日) 10:30～16:30

(ウ)会場 仙台市科学館 2F 特別展示室

(エ)内容

- ・超伝導コースター実演，超伝導磁気浮上体験など，東北大学，福岡工業大学，東海大学の最先端の研究室からの科学体験展示
- ・液体窒素を使った風船冷却実験
- ・公開講座「低温のふしぎ現象」 講師 池田 博 氏（南極越冬経験者）

(オ)来場者数 305人



会場内の様子

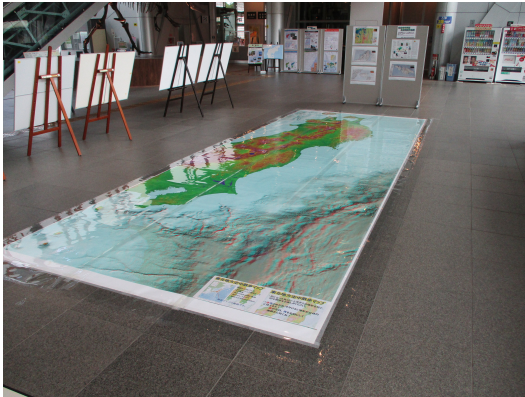
IV 事業概要

4 連携事業

(3) 専門機関

①第36回 「測量の日」記念 ― 地図と測量のミニフェスタ ―

- (ア) 主 催 「測量の日」東北地区事業推進団体協議会 実行委員会
国土地理院東北地方測量部 (公社) 日本測量協会東北支部
(一社) 宮城県測量設計業協会 (学法) 北杜学園仙台工科専門学校
- (イ) 共 催 仙台市科学館
- (ウ) 期 間 令和6年6月1日(土)
- (エ) 会 場 仙台市科学館 エントランスホール, 特別展示室, 第3実験室, 第4実験室
台原森林公園
- (オ) 内 容
- | | |
|-----------|---|
| エントランスホール | 東北地方空中散歩マップ, 仙台市中学校生徒地図作品優秀作品
測量ゲーム (TS・シューティング) 等 |
| 特別展示室 | UAV練習機操縦体験 |
| 第3実験室 | CAD体験 |
| 第4実験室 | 地図記号クイズ |
| 台原森林公園 | GPS体験 |
- (カ) 来場者数 470名



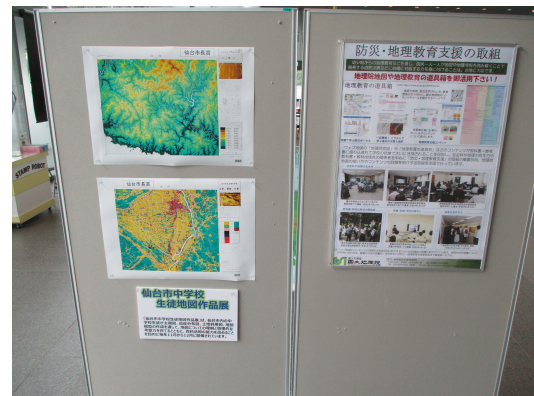
東北地方空中散歩マップ



測量ゲーム (TS・シューティング)



UAV 練習機操縦体験



仙台市中学校生徒地図作品

Ⅳ 事業概要

4 連携事業

(4) 企業・NPO・学校・その他

① サイエンス・デイ

(ア) 開催形態 主催：特定非営利活動法人 Natural Science

(イ) 期 間 令和6年7月14日(日)
午前の部①10:00～10:30 ②11:00～11:30
午後の部③13:00～13:30 ④14:00～14:30

(ウ) 会 場 東北大学川内北キャンパス講義棟

(エ) 内 容 プログラム名「LEDを使った光る飾りをつくろう!」

(オ) 対 象 小学生以上で、各回15名(親子15組)



IV 事業概要

4 連携事業

(4) 企業・NPO・学校・その他

② キッズエンジニア in 東北 2024 仙台

(ア) 開催形態 主催：公益社団法人 自動車技術会東北支部 共催：仙台市科学館

(イ) 期日 令和6年11月23日(土・祝) 9:30～15:30

(ウ) 会場 仙台市科学館

特別展示室、第3実験室、第4実験室、市民の理科室、エントランスホール

(エ) 内容 自動車を中心とした様々な分野の科学技術や、ものづくりへの興味を高める体験型学習イベント。自動車メーカーや自動車部品メーカーのエンジニアが実践的な学びの場を提供。小学生を対象に9つの体験プログラムを実施。

(オ) プログラムおよび参加者数

	企業・団体名	プログラム名	時間	参加人数
A	日立 Astemo	塩水で車が走るの？自分で作って走らせよう！	①10:20～11:50 ②13:40～15:10	39名
B	フォーラムエイト	3DVR ソフトでじぶんの町をつくら！～バーチャル空間に道をつくって運転しよう～	① 9:30～11:00 ②12:00～13:30 ③14:00～15:30	30名
C	ダッソー・システムズ	君は未来の設計者 おもちゃのくるまをパソコンで作って遊んでみよう！	①10:20～11:50 ②13:40～15:10	15名
D	本田技研工業	水素で車をはしらせよう！&環境かるたで想いをカタチに！	① 9:30～10:45 ②11:45～13:00 ③14:15～15:30	28名
E	ヤマハ発動機	ウインドカーを作ってコースを走らせてみよう！	① 9:30～11:00 ②12:00～13:30 ③14:00～15:30	30名
F	自動車技術会 関東支部	LEGO キットカーを組立てプログラミングして走らせよう！	① 9:30～11:00 ②12:00～13:30 ③14:00～15:30	32名
G	プログレス・テクノロジーーズ	分解したラジコンを組み立ててレースしよう！	① 9:30～11:00 ②12:00～13:30 ③14:00～15:30	15名
H	自動車技術会 東北支部	大学生がつくったシミュレーターで学生フォーミュラ日本大会を体感しよう！	随時受付	156名
I	自動車技術会 関東支部	クルマとファンと、ときどき かざぐるま	随時受付	283名



IV 事業概要

4 連携事業

(4) 企業・NPO・学校・その他

③ 親子電波教室

(ア) 開催形態 主催 一般社団法人 日本アマチュア無線連盟 (JARL) 宮城県支部
電波適正利用推進協議会 宮城県支部
共催 仙台市科学館

(イ) 開催日 令和6年11月2日(土)13:30～16:30

(ウ) 会場 仙台市科学館 1階市民の理科室

(エ) 内容 電波に関する講義およびAMラジオの製作を行う科学工作教室。

(オ) 参加者数 12組



電波に関する講義の様子



AM ラジオを製作する様子

IV 事業概要 4 連携事業

(4) 企業・NPO・学校・その他

④ 自動車技術会連携事業

(ア) 開催形態 主催：公益社団法人 自動車技術会東北支部 共催：仙台市科学館

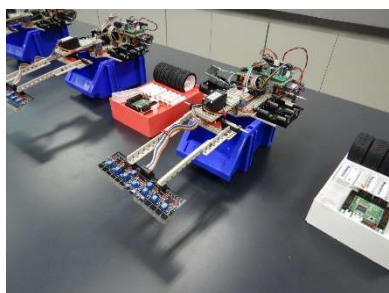
(イ) 期日・事業内容

「事業名」 事業内容	期日	時間	参加 人数
「親子マイコンカーラリー体験科学教室」 小学生を対象にしたマイコンカーを組み立て、プログラミングして走らせることで、自動車の科学技術やモノづくりの興味関心を高めるイベント。	9月7日（土）	10:00～12:00 13:30～15:30	16名 (6組)
	12月14日（土）	10:00～12:00 13:30～15:30	16名 (8組)
	2月22日（土）	10:00～12:00 13:30～15:30	18名 (8組)
「3Dプリンター体験科学教室」 小学生を対象に 3D プリンターを使って燃料電池カーのリアウイングを造形し、組み立てて走らせることで、3Dプリンターやモノづくりの興味関心を高めるイベント。	10月12日（土）	10:00～12:00 13:30～15:30	16名 (8組)
	1月25日（土）	10:00～12:00 13:30～15:30	16名 (8組)
「小学生向けフォーミュラ シミュレーター 体験科学教室」 小学生を対象にドライビングシミュレーターの体験を通して、自動車の科学技術の興味関心を高めるイベント。	10月12日（土）	10:00～15:00	24名
	1月18日（土）	10:00～15:00	59名
	2月8日（土）	10:00～15:00	69名

(エ) その他

自動車技術会共済行事として、11月23日（土）に、キッズエンジニア in 東北 2024 を開催した。

(オ) 活動の様子



マイコンカー



3Dプリンター



フォーミュラシミュレーター

IV 事業概要

4 連携事業

(4) 企業・NPO・学校・その他

⑤ 「ちきゅう」LIVE! in仙台市科学館～航海中の探査船「ちきゅう」とオンラインでつながろう～

- (ア) 開催形態 主催 仙台市科学館
協力 海洋研究開発機構（JAMSTEC）
- (イ) 開催日 令和6年12月8日（日） 13:45～15:00
- (ウ) 会場 仙台市科学館 3階エントランスホール
- (エ) 内容 宮城県沖で行われている国際深海科学掘削プロジェクト、通称JTRACKでの研究活動の様子を乗組員がオンラインで紹介。質疑応答の時間を設け、来館者からの質問に直接乗組員が回答した。
八戸市水産科学館マリエント，仙台市科学館，大阪科学技術館の三館合同で開催。
- (オ) 参加者数 33名
- (カ) その他 本イベントに先立ち，探査船「ちきゅう」からのオンライン配信のパブリックビューイングを下記の日程で行った。
① 令和6年11月9日（土）13:30～14:30
② 令和6年12月7日（土）13:30～14:30



会場の様子



パネル展示

Ⅳ 事業概要

4 連携事業

(5) SMMA連携事業

①SMMAミュージアムユニバース 2024

- (ア) 主催 SMMA（仙台・宮城ミュージアムアライアンス）
- (イ) 期間 令和6年12月20日(金)～23日(月)10:00～18:00 全4日間
ワークショップ開催日：12月22日(日) ①10:00～12:00 ②13:00～15:00
- (ウ) 会場 せんだいメディアテーク1階
- (エ) 内容 仙台・宮城のミュージアムがメディアテークに集合し、ワークショップや展示などを行い、ミュージアムの魅力や情報を発信するイベントを行った。
- 当館では、展示ブースにおいては、東日本大震災以降蒲生干潟で行っている植物や地形等の継続調査について、パネルやレポートと映像、蒲生干潟の生物実物展示（カニ、ホソウミナナ）で紹介した。また、ワークショップにおいては、「キラキラレインボー」の製作を行った。子供から大人まで、多くの幅広い世代の方が体験した。
- (オ) 参加者数 「キラキラレインボー」 179名

<ワークショップのようす>



<展示ブースのようす>

